

平成30年度「県政お届け講座」テーマ一覧

※ テーマ名のリンクをクリックすると申込のための電子申請システム画面に移行します。

分類	テーマ番号	テーマ名	内容	連絡先
子育て・教育・学習	1-2	「あいち食育いきいきプラン」について	「あいち食育いきいきプラン2020」は、県民の皆さんが「食育」に主体的に取り組んでいただくための指針として、また、県や関係団体等が取組を推進するための基本となるものとして作成しました。この「あいち食育いきいきプラン2020」の内容について御説明します。	食育消費流通課 食育推進グループ TEL: 052-954-6396 FAX: 052-954-6940 shokuiku@pref.aichi.lg.jp
子育て・教育・学習	1-7	輝く愛知の専門高校 ～スペシャリストの育成～	農業、工業、商業、水産、家庭、看護、福祉に関する学科を設置する専門高校は、専門的な学習を通して高度な資格取得や全国の競技大会等においてトップクラスの成績をあげています。 生徒の活躍の様子を紹介しながら、愛知の産業を支えるスペシャリストの育成に取り組む専門高校のPRと現状を御説明します。	教育委員会 高等学校教育課 職業指導グループ TEL: 052-954-6787 FAX: 052-961-4864 kotogakko@pref.aichi.lg.jp
子育て・教育・学習	1-10	総合型地域スポーツクラブについて	総合型地域スポーツクラブとは、住民が主体的に運営し、多世代・多種目にわたっていろいろなスポーツに親しめる非営利のクラブのことで、愛知県では、各市町村とともにこの新しいタイプのクラブづくりを進めていますので、その取組について御説明します。	教育委員会 保健体育スポーツ課 スポーツグループ TEL: 052-954-6797 FAX: 052-961-0639 sports@pref.aichi.lg.jp
福祉・人権・男女共同参画	2-9	みんなに「ハンセン病のこと」知らせ隊 ～ハンセン病について～	ハンセン病はらい菌による感染症です。その感染力は非常に弱く、発病することはまれで、発病しても早期に治療すれば後遺症もなく治癒します。しかし、ハンセン病は怖い病気という誤解から、ハンセン病にかかった人々は、長い間人権を侵害されてきました。再び過ちを繰り返さないよう、ハンセン病について学んでみませんか。	健康対策課 原爆・難病企画グループ TEL: 052-954-6268 FAX: 052-954-6917 kenkotaisaku@pref.aichi.lg.jp
文化・生活・交流	3-3	スポーツ大会を活かした地域振興 ～あいちスポーツコミッションの活動について～	愛知県では、全国・世界に打ち出せるスポーツ大会を招致・育成し、地域の活性化につなげていくことをめざしています。 地域の関係者が連携して設立したあいちスポーツコミッションを活用した、アジア競技大会の推進、ラグビーワールドカップ2019の開催支援、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の合宿誘致、FIFAフットサルワールドカップ2020の招致、また、マラソンフェスティバル ナゴヤ・愛知や新城ラリーなどの大会を活用した地域活性化への取組など、本県の主な取組を御紹介します。	スポーツ振興課 企画グループ TEL: 052-954-6247 調整グループ TEL: 052-954-6459 FAX: 052-951-1005 sposhin@pref.aichi.lg.jp
文化・生活・交流	3-4	アジア競技大会について ～アジア競技大会ってどんな大会!?～	アジア最大のスポーツの祭典であるアジア競技大会。2026年に愛知・名古屋で開催されるこの大会は、スポーツ界にとって東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の次なる大きな目標となり、また拡大するアジアとの交流を一層深める機会となるなど大きな意義があります。 そこで、この講座では「アジア競技大会とは何か」を皆様に分かりやすく御説明すると共に、愛知県が大会開催に向けて行っている取組についても併せて御紹介します。	アジア競技大会推進課 企画・調整グループ TEL: 052-954-6845 FAX: 052-951-1006 ag@pref.aichi.lg.jp
文化・生活・交流	3-7	県営名古屋空港とあいち航空ミュージアムについて	★新規★ 県営名古屋空港及び平成29年11月30日にオープンした「あいち航空ミュージアム」について、その施設の概要や魅力を御紹介します。	航空対策課 企画グループ TEL: 052-954-6131 FAX: 052-961-3247 kouku@pref.aichi.lg.jp
文化・生活・交流	3-8	愛知県の観光振興	愛知県では、愛知県観光振興基本条例(平成20年10月制定)に基づき、観光振興施策を総合的・計画的に推進するため、平成28年2月、「あいち観光戦略」を策定しました。 ここでは、愛知県の観光の現状と、この戦略に基づく取組を御説明します。	観光振興課 企画グループ TEL: 052-954-6354 FAX: 052-973-3584 kanko@pref.aichi.lg.jp
文化・生活・交流	3-10	多文化共生社会づくりの推進について	愛知県には、現在約23万人の外国人県民が暮らしており、国籍などのちがいがいかかわらず、すべての県民の皆様が多様な価値観を認め合いながら、ともに生き、ともに輝き、ともに安心して暮らせる多文化共生の社会づくりが求められています。 多文化共生社会づくりを推進するための、本県の主な取組を御紹介します。	社会活動推進課 多文化共生推進室 多文化共生推進グループ TEL: 052-954-6138 FAX: 052-971-8736 tabunka@pref.aichi.lg.jp
文化・生活・交流	3-11	あいちトリエンナーレについて	あいちトリエンナーレは、3年に1度、愛知県で開催する国内最大級の国際的な現代アートの祭典です。現代美術に加えて、パフォーミングアーツ等の舞台芸術を同時展開します。また、まちなかでの作品展示やさまざまな普及教育プログラムがあることも大きな特徴です。 開催意義や概要、あいちトリエンナーレ2016の様子や2019に向けての取組を御紹介します。	文化芸術課 トリエンナーレ推進室 調整グループ TEL: 052-971-6182 FAX: 052-971-6115 triennale@pref.aichi.lg.jp 〒461-8525 名古屋市東区東桜一丁目13番2号
文化・生活・交流	3-12	愛知県美術館出前講座 ～美術の楽しみ方、美術館の活用法～	愛知県美術館では、20世紀の美術を中心とした作品を収集してコレクション展で公開するとともに、幅広いテーマで企画展を開催し、また、各種の教育普及事業を実施しています。コレクションの特色や企画展、教育普及事業などについて紹介しながら、団体鑑賞を始めとする美術館の活用方法を御説明します。	愛知芸術文化センター 愛知県美術館 企画業務課・業務グループ TEL: 052-971-5511(内線321) FAX: 052-971-5604 apma-webmaster@aac.pref.aichi.jp 〒461-8525 名古屋市東区東桜一丁目13番2号

平成30年度「県政お届け講座」テーマ一覧

※ テーマ名のリンクをクリックすると申込のための電子申請システム画面に移行します。

分類	テーマ番号	テーマ名	内容	連絡先
文化・生活・交流	3-13	くらしの中に図書館を ～知っていると便利な愛知県図書館の 活用法～	日常生活の中で困ったこと、疑問に思うことはありませんか？そんなときは図書館へ。愛知県図書館の120万冊の資料があなたの疑問を解決します。愛知県図書館の豊富な資料や、知っていると便利な図書館の使い方について御紹介します。	愛知県図書館 総務課・企画グループ TEL: 052-212-2323(内線218) FAX: 052-212-3674 kikaku@aichi-pref-library.jp 〒460-0001 名古屋市中区三の丸一丁目9-3
文化・生活・交流	3-19	モリコロパークを知ろう！ ～愛・地球博の跡地は今、どうなってん の？～	愛・地球博長久手会場の跡地は、愛・地球博記念公園(愛称:モリコロパーク)として平成18年7月に部分開園した後も、順次整備が完了したところを追加開園し、魅力的な施設が増えております。 また、公園では、スケートショーやコンサート、記念イベントなどいろいろな催事を開催したり、森づくりや公園計画づくりのための市民協働のワークショップも行われております。そんなモリコロパークの魅力を御紹介します。	公園緑地課 企画・都市緑化グループ TEL: 052-954-6526 FAX: 052-953-5329 koen@pref.aichi.lg.jp
文化・生活・交流	3-20	文化財の保存と活用 ～文化財はみんなの財産です～	東西文化の接点である愛知県には貴重な文化財が多くあります。文化財は人々の生活の中で、守り、はぐくまれてきた「愛知のこころ」ともいえるものです。県内で行われている文化財の保存と活用についての様々な取組を中心に御説明し、参加者の皆様方と文化財を後世に伝えていくにはどうしたら良いかを考えます。	生涯学習課 文化財保護室 保護・普及グループ TEL: 052-954-6783 FAX: 052-954-6962 syogaigakushu@pref.aichi.lg.jp
文化・生活・交流	3-21	ものづくり愛知の原点「朝日遺跡」を 知ろう！ ～全国最大級の弥生集落について～	★新規★おすすめ★ 朝日遺跡は、清須市、名古屋市西区にまたがる弥生時代の環濠集落で、佐賀県吉野ヶ里遺跡にも匹敵する全国でも最大級の弥生遺跡です。また、その出土品2,028点が国の重要文化財として指定され、弥生文化を代表する考古資料として、学術的に高い評価を受けています。その朝日遺跡の魅力を分かりやすく御説明します。	生涯学習課 文化財保護室 管理グループ TEL: 052-954-6782 FAX: 052-954-6962 syogaigakushu@pref.aichi.lg.jp
まちづくり	4-4	あいちの都市計画	都市計画は、県民の皆さんが「安全で、住みやすく、働きやすい都市」を目指して定めるまちづくりの計画です。都市の土地利用や道路・公園・下水道などの都市施設、市街地を面的に整備する市街地開発事業に関する計画を一体的に定めています。こうした都市計画の仕組みや取組について御説明します。	都市計画課 企画・調査グループ TEL: 052-954-6516 FAX: 052-954-6942 toshi@pref.aichi.lg.jp
まちづくり	4-6	景観を活かしたあいちのまちづくり ～美しい愛知づくり～	愛知県は、魅力的な地域づくりのためには良好な景観形成が必要と考え、「美しい愛知づくり」を推進しています。県内の様々な景観を紹介しつつ、「美しい愛知づくり基本計画」や「美しい愛知づくり景観資源」など、愛知県の景観に関する取組を分かりやすく御説明します。 また、立看板、広告塔などの屋外広告物についての規制もあわせて御紹介します。	公園緑地課 景観グループ TEL: 052-954-6612 FAX: 052-953-5329 koen@pref.aichi.lg.jp
まちづくり	4-8	都市公園を楽しもう！ ～あいちの都市公園～	都市の緑は、市民活動や憩いの場を形成し、豊かな地域づくりに資するなど、多くの恩恵を私達に与えてくれます。これら緑が持つ多様な機能を保ち、緑あふれる快適な暮らしを創出する役割を都市公園は担っています。県内の都市公園について、県営都市公園を中心に分かりやすく説明します。	公園緑地課 企画・都市緑化グループ TEL: 052-954-6526 FAX: 052-953-5329 koen@pref.aichi.lg.jp
まちづくり	4-9	循環型社会を支える下水道	下水道は生活環境の改善、川や海の水質保全、雨水浸水対策等の様々な役割を担っています。また、下水汚泥の有効利用等、循環型社会づくりに貢献しています。ここでは、下水道の仕組みと役割、下水汚泥の有効利用、下水道と地球温暖化対策などについて御説明します。	下水道課 企画調査グループ TEL: 052-954-6531 FAX: 052-972-6416 gesuido@pref.aichi.lg.jp
まちづくり	4-10	愛・道路パートナーシップ事業 ～国道や県道の清掃美化活動支援～	愛知県では、平成15年4月から、住民の皆様や企業の方々が県の管理する国道や県道の清掃美化活動をする際に、その活動を支援させていただき制度を始めました。 歩道など安全に活動できる一定区間(100m以上を目安)において、空き缶や吸い殻などのごみ拾いや雑草取りなどを定期的(年4回以上2年間以上を目安)に行っていただくもので、その支援内容について具体的な事例を交えて御説明します。	道路維持課 路政・管理グループ TEL: 052-954-6546 FAX: 052-951-0861 douroji@pref.aichi.lg.jp
まちづくり	4-11	あいちの道づくり	道路は、通勤・通学や買い物、旅行など家の周りの路地から高速道路に至るまで、私たちの生活には、なくてはならない公共の施設です。愛知県にはどんな道路があるのか、これまで整備された道路が、どのような効果を生んでいるのか、また、今、道路にはどんな課題があり、どのように解決しようとしているのかについて、事例を交えながら御説明します。	道路建設課 企画・環境対策グループ TEL: 052-954-6541 FAX: 052-972-6417 dourokensetsu@pref.aichi.lg.jp
まちづくり	4-12	あいちの河川と海岸	愛知県の河川と海岸についての様々な情報を提供します。河川・海岸のハード・ソフト対策について(整備事業、耐震対策、老朽化対策、整備の計画、総合治水対策、減災対策、多自然川づくり等)防災面、環境面を含め河川・海岸の持つ様々な役割などについて御説明します。	河川課 企画グループ TEL: 052-954-6553 FAX: 052-953-1457 kasen@pref.aichi.lg.jp
まちづくり	4-13	あいちの港湾 ～みんなの生活を支えるみなと～	愛知県には、貨物量、貿易額日本一の名古屋港を始め、衣浦港、三河港といった港湾があります。日常生活ではなかなか関わりにくい港湾について、整備の重要性をお伝えします。 また、津波、高潮といった災害に対する備え、良好な海域環境の保全に対する取組を御紹介します。	港湾課 業務・調整グループ TEL: 052-954-6562 FAX: 052-953-1793 kowan@pref.aichi.lg.jp

平成30年度「県政お届け講座」テーマ一覧

※ テーマ名のリンクをクリックすると申込のための電子申請システム画面に移行します。

分類	テーマ番号	テーマ名	内容	連絡先
まちづくり	4-14	あいちの住まい・まちづくり	愛知県では、県内の住まい・まちづくり施策を総合的・計画的に進めるための基本計画として「愛知県住生活基本計画2025」を平成29年3月に策定しました。計画で示した基本的な方針「『安全・安心』に暮らす」、「住まいを『未来』へつなぐ」、「あいちの『魅力』を高める」に基づく県の取組を御紹介します。	住宅計画課 企画グループ TEL: 052-954-6567 FAX: 052-961-8145 jutakukeikaku@pref.aichi.lg.jp
健康・医療	5-3	みんなの健康まもり隊 ～保健師の仕事～	保健師は、地域で生活している赤ちゃんからお年寄りまであらゆる年齢層の方が健康な生活を送れるように、健康状態や生活状況を聞きながらアドバイスをしています。 保健所・市町村保健センターを中心に活躍している保健師の日ごろの業務内容について、分かりやすく御説明します。	医療福祉計画課 地域保健グループ TEL: 052-954-6267 FAX: 052-953-6367 iryofukushi@pref.aichi.lg.jp
健康・医療	5-13	冬の感染症について知らせ隊 ～感染性胃腸炎・インフルエンザ対策を中心に～	感染性胃腸炎や季節性インフルエンザ等の感染症の流行状況や、うつらない・うつさないための感染予防対策について御説明します。	健康対策課 感染症グループ TEL: 052-954-6272 FAX: 052-954-6917 kenkotaisaku@pref.aichi.lg.jp
健康・医療	5-15	手洗いの大切さ知ってもらい隊 ～食の安全性の確保について～	＜体験あり＞ 食中毒の予防に大切な手洗いの方法について、御説明します。 ブラックライトに反応するローション(仮想の汚れ)を塗って、手を洗い、ブラックライトに当てて光る部分(洗い残し部分)があるかチェックする等、実際に手洗いをしながら正しい手洗い方法について御説明します。	生活衛生課 食の安全・安心グループ TEL: 052-954-6297 FAX: 052-954-6921 eisei@pref.aichi.lg.jp
安全情報	6-5	交差点事故防止出張講座 ～歩行環境シミュレータを体験してみませんか～	＜体験あり＞ 【対象】15人から30人程度の市町村や学校、老人クラブ、子ども会などが主催する交通安全教室及び企業・団体の交通安全研修など 【実施日】土、日、祝日を除く平日のみ 【実施時間】10時から16時まで、時間は概ね2時間程度 交差点の危険性を理解し、道路の安全な横断の方法を身に付けていただくため、参加体験型の交差点事故防止出張講座を実施します。 講座では、愛知県内の交差点事故の特徴に関する簡単な説明のほか、より現実に近い交差点の環境を疑似体験することができる「歩行環境シミュレータ(わたりジョーズ君)」によるリアルな交差点横断の体験を通して、安全な道路横断方法について学んでいただきます。	地域安全課 交通安全グループ TEL: 052-954-6177 FAX: 052-954-6910 chiikianzen@pref.aichi.lg.jp
安全情報	6-6	自転車安全利用出張講座 ～自転車シミュレータを体験してみませんか～	＜体験あり＞ 【対象】15人から30人程度の市町村や学校、老人クラブ、子ども会などが主催する交通安全教室及び企業・団体の交通安全研修など 【実施日】土、日、祝日を除く平日のみ 【実施時間】10時から16時まで、時間は概ね2時間程度 自転車の正しい利用ルールと安全な通行方法を学んでいただくため、参加体験型の自転車安全利用出張講座を実施します。講座では、自転車走行を疑似体験できる「自転車シミュレータ」を活用し、その体験結果の解説を通じて、自転車の安全な利用方法を身に付けていただきます。	地域安全課 交通安全グループ TEL: 052-954-6177 FAX: 052-954-6910 chiikianzen@pref.aichi.lg.jp
安全情報	6-13	安心して食べていただき隊 ～食の安全性の確保について～	食中毒の予防、食品添加物・アレルギー物質、食品表示(衛生に関する部分)など、県民の皆様身近な食の安全に関する話題や、「あいち食の安全・安心推進アクションプラン」に基づいた食の安全・安心確保のための県の取組等について御説明します。	生活衛生課 食の安全・安心グループ TEL: 052-954-6297 FAX: 052-954-6921 eisei@pref.aichi.lg.jp
安全情報	6-15	土砂災害から身を守る	土砂災害は、主に降雨によって起こりますが、その危険が迫っていることは目で見てわかりにくいので、突発的に被害が発生する怖い災害です。土砂災害がどんな災害であるかを知っていただくとともに、砂防えん堤(砂防ダム)などの施設整備のほか、土砂災害防止法や土砂災害警戒情報などの警戒避難体制についての新しい取組を通して、土砂災害から身を守るためにはどんなことが必要であるかを御説明します。	砂防課 企画・防災グループ TEL: 052-954-6560 FAX: 052-972-6418 sabo@pref.aichi.lg.jp
安全情報	6-16	あいちの防災まちづくり	＜体験あり＞ 近い将来発生が危惧される東海・東南海・南海地震などの巨大地震に対し、命を守るために、我が家の備えを日頃から如何にするか、またそのための耐震化支援制度などを分かり易く御紹介します。	住宅計画課 防災まちづくりグループ TEL: 052-954-6549 FAX: 052-961-8145 jutakukeikaku@pref.aichi.lg.jp
農林水産	7-1	「食と緑の基本計画2020」について ～食と緑が支える豊かな「あいち」をめざして～	平成28年3月に策定した「食と緑の基本計画2020」について御説明し、皆さんと協働して取り組む内容について意見交換を行います。	農林政策課 企画グループ TEL: 052-954-6395 FAX: 052-954-6928 nourin@pref.aichi.lg.jp
農林水産	7-2	「地産地消」のすすめ ～「いいともあいち運動」を知っていますか～	「いいともあいち運動」は消費者と生産者が“いい友達”関係を築き、もっと愛知県産品を食べよう、利用しようという運動です。ここでは、健康な食生活を送り、環境にも優しい「地産地消」の大切さと「いいともあいち運動」について御説明します。	食育消費流通課 需要拡大・ブランド力強化グループ TEL: 052-954-6434 FAX: 052-954-6940 shokuiku@pref.aichi.lg.jp

平成30年度「県政お届け講座」テーマ一覧

※ テーマ名のリンクをクリックすると申込のための電子申請システム画面に移行します。

分類	テーマ番号	テーマ名	内容	連絡先
農林水産	7-4	あいちの茶について	愛知県の茶生産は西三河地域から東三河地域にかけて、沿岸から山間地へと広がっており、それぞれの地域において地形・気候の特徴を活かした栽培が行われています。 そこで、都道府県別では全国第2位の生産量を誇るてん茶(抹茶の原料)や、普通せん茶、深蒸しせん茶、かぶせ茶、有機栽培茶、紅茶など県内で生産されている多種多様なあいちの茶の特徴等について御説明します。	園芸農産課 特用作物グループ TEL: 052-954-6416 FAX: 052-954-6932 engei@pref.aichi.lg.jp
農林水産	7-5	あいちのお米について	お米は、日本人の主食であり、最も重要な農作物の1つです。そのため、生産者の皆さんが安定して栽培でき、消費者の皆さんが安心して食べていただけるように、法律や各種制度が存在しています。 また、お米は愛知県の農産物の中で最も産出額が高い品目です。そこで、愛知県のお米の栽培状況や各種制度に関する県の取組について御紹介します。	園芸農産課 稲・麦・大豆グループ TEL: 052-954-6420 FAX: 052-954-6932 engei@pref.aichi.lg.jp
農林水産	7-6	あいちの小麦「きぬあかり」について	「きぬあかり」は、愛知県が育成した小麦の品種で、平成24年産から本格的な栽培が始まりました。色が明るく、なめらかで、コシのあるうどんがで、収量は今までの主要品種より極めて高いことから、県内作付の8割を占めるまで拡大しています。 そこで、「きぬあかり」の特性や普及状況について御紹介します。	園芸農産課 稲・麦・大豆グループ TEL: 052-954-6420 FAX: 052-954-6932 engei@pref.aichi.lg.jp
農林水産	7-7	あいちの果物の話	愛知県では、みかんや、かき、ぶどう、いちじくなど多種類の果物が栽培され、一年を通して様々な果物を食べることができます。こうしたあいちの果物の魅力や、それを支える取組、さらにはあいちの果物に関するイベント等を御紹介します。	園芸農産課 野菜・果樹グループ TEL: 052-954-6418 FAX: 052-954-6932 engei@pref.aichi.lg.jp
農林水産	7-8	あいちの伝統野菜って何！！	愛知県では、①今から50年前には栽培されていたもの、②地名、人名など愛知県に由来しているもの、③今でも種や苗があるもの、④種や生産物が手に入るものを条件にあいちの伝統野菜を選定しました。現在、21品種35品目が選定されています。あいちの伝統野菜をはじめ、愛知で作られる野菜を身近に感じていただきたいと思います。	園芸農産課 野菜・果樹グループ TEL: 052-954-6418 FAX: 052-954-6932 engei@pref.aichi.lg.jp
農林水産	7-9	あいちの花は日本一！	愛知県は日本一の花き生産を誇るとともに、生産から消費までの花き関係者が消費拡大に向けた様々な取組を行っています。キク、バラ、観葉植物、洋らんを始めとした花き生産の現状や最新の生産技術の概要、花きイベントや「花いっぱい県民運動」の推進などの取組について御紹介します。	園芸農産課 花きグループ TEL: 052-954-6419 FAX: 052-954-6932 engei@pref.aichi.lg.jp
農林水産	7-10	国産飼料の活用について	家畜の飼料となるトウモロコシなどの穀物や乾草の多くは、外国から輸入されています。その一方で、飼料の自給率を高めるため、飼料用稲や食品の加工残さなどの国産飼料の活用が進められています。 こうした国産飼料の生産や利用の取組について御説明します。	畜産課 畜政環境・飼料グループ TEL: 052-954-6425 FAX: 052-954-6934 chikusan@pref.aichi.lg.jp
農林水産	7-11	資源としての家畜ふん尿	家畜のふん尿は、多くの肥料成分を含むことから、たい肥として畑や水田の土づくりに有効利用されています。また、最近では電力や熱としてエネルギー利用を図ろうとする動きもあります。 こうした家畜ふん尿による資源循環・リサイクルの取組を御説明します。	畜産課 畜政環境・飼料グループ TEL: 052-954-6425 FAX: 052-954-6934 chikusan@pref.aichi.lg.jp
農林水産	7-13	系統豚を利用した豚肉の生産	愛知県では全国で唯一豚肉生産の素豚となる3品種の系統豚を所有し、県下の生産者に譲渡しています。これら系統豚の組み合わせでできる豚肉(三元豚)がおいしい豚肉として食卓に提供されています。 ここでは、愛知県の系統豚(愛称「愛とん」)や、豚生産の話を図表、写真等使って分かりやすく御説明します。	畜産総合センター 種畜部養豚課 養豚グループ TEL: 0564-21-0201(内線25) FAX: 0564-22-1857 chikusan-c@pref.aichi.lg.jp 〒444-0006 岡崎市丸山町字亀山9の1
農林水産	7-16	あいちの水産物と水産業	愛知県の海は、漁獲量日本一のアサリやガザミ(ワタリガニ)、シラス、ノリ、トラフグなど、様々な水産物をもたらす海の恵みの宝庫です。愛知県産のおいしい水産物とともに、身近な海でどのような漁業が行われているのか、分かりやすく御紹介します。	水産課 企画・資源グループ TEL: 052-954-6458 FAX: 052-951-1645 suisan@pref.aichi.lg.jp
農林水産	7-17	水産技術研究の現状 ～水産試験場の取組～	水産業は生物多様性の上に成り立っています。水産試験場では干潟・藻場の保全、再生研究を始め、イカナゴ、トラフグ、アサリなど水産資源の持続的利用の研究、高品質で安全なノリ、ウナギ、キンギョ、マスなどの養殖技術の開発などの試験研究を行っています。試験研究の概要について御紹介します。	水産試験場 企画情報部企画普及グループ TEL: 0533-68-5198 FAX: 0533-67-2664 suisanshiken@pref.aichi.lg.jp
農林水産	7-18	農地・水・環境を守ろう！ ～農村環境の持つはたらきと未来につなぐ地域の取組～	農地や農業用水などは食料を生産するだけでなく、多様な生物の生息、県土の保全、景観形成など様々な機能を有しています。この農地や農業用水路などを地域ぐるみで守る活動を支援する「多面的機能支払交付金」の仕組みと代表的な取組を御紹介します。	農地計画課 企画・調査グループ TEL: 052-954-6429 FAX: 052-954-6935 nochi-keikaku@pref.aichi.lg.jp

平成30年度「県政お届け講座」テーマ一覧

※ テーマ名のリンクをクリックすると申込のための電子申請システム画面に移行します。

分類	テーマ番号	テーマ名	内容	連絡先
農林水産	7-19	水土里のオアシス ため池 ～その秘密に迫る～	農業用水を供給することを目的に造られたため池は、多様な生物の棲処、地域住民の憩いの場、洪水の緩和など、様々な恵みを地域に提供しています。こうした、農業用ため池の役割と共に、地域の財産であるため池を保全するために実施されている池干しなども御紹介します。	農地計画課 排水対策グループ TEL: 052-954-6432 FAX: 052-954-6935 nochi-keikaku@pref.aichi.lg.jp
農林水産	7-20	実りある大地と暮らしを取り戻すために	東日本大震災の被災地域は、日本有数の穀倉地帯であり、農業を生業(なりわい)とする人も多く、復興にあたっては、生活基盤である農地等の復旧が重要です。本県では、被災直後から職員を派遣し、現地の復興支援にあたっています。この講座では、農業・農村・農家を中心に、被災直後の状況や復旧、復興対策への取組や、人々の営みを御報告します。	農地計画課 排水対策グループ TEL: 052-954-6432 FAX: 052-954-6935 nochi-keikaku@pref.aichi.lg.jp
農林水産	7-21	大地を潤す農業用水 ～大規模農業用水の歴史～	愛知県では木曾川、矢作川、豊川などの豊かな水を利用して、古くから多くの農業用水が開削されてきました。明治用水、愛知用水、豊川用水など連続と続く農業用水の開発は、農業のみならず「ものづくり日本一」の愛知県の発展の礎となっています。こうした農業用水の歴史や重要性を御紹介します。	農地計画課 計画グループ TEL: 052-954-6431 FAX: 052-954-6935 nochi-keikaku@pref.aichi.lg.jp
農林水産	7-22	農村の環境整備	ため池や水路などの農業水利施設は、水に親しめる身近な場所であるとともに、多様な生物が生息するビオトープでもあります。愛知県では、生態系や景観に配慮し、安らぎと潤いのある親水空間を持った農業水利施設の整備を行っています。これらの取組について分かりやすく御説明します。	農地整備課 環境整備・単県グループ TEL: 052-954-6439 FAX: 052-972-7916 nochi-seibi@pref.aichi.lg.jp
農林水産	7-23	食料等の生産基盤の整備	農産物を安定して供給するためには、生産性を向上させる必要があります。愛知県では、農作物の輸送・作業機械の移動に使う農道、農業用水をほ場に送る用水路や余分な雨水を流す排水路などの整備を行っています。これらの取組について分かりやすく御説明します。	農地整備課 生産基盤・団体営グループ TEL: 052-954-6438 FAX: 052-972-7916 nochi-seibi@pref.aichi.lg.jp
農林水産	7-24	農村地域の自然災害の防止	大規模地震や豪雨による洪水の被害が心配されています。愛知県では、自然災害から地域を守るため、ため池や排水路、排水機場などの整備を行っています。これらの取組について分かりやすく御説明します。	農地整備課 防災グループ TEL: 052-954-6440 FAX: 052-972-7916 nochi-seibi@pref.aichi.lg.jp
農林水産	7-27	海上の森の保全と活用の取組	《体験あり》 あいち海上の森センターが、①海上の森を愛知万博記念の森として保全していること、②海上の森を森林や里山に関する学習と交流の場として活用していることや、取組について、分かりやすく御説明し、意見交換も行います。	あいち海上の森センター 保全・活用グループ TEL: 0561-86-0606 FAX: 0561-85-1841 kaisho@pref.aichi.lg.jp 〒489-0857 瀬戸市吉野町304-1
農林水産	7-29	食生活を支える農業技術:体験授業 ～田植えのいらない米作り～	《体験あり》 【対象】小学3年生から6年生まで 【時期】7月から10月 農業総合試験場で開発した、田植えを必要としない「不耕起V溝直播」など新たな栽培方法を御紹介します。農業総合試験場の研究員が、子どもたちに直接伝えることで農業の大切さや素晴らしさを知っていただきます。	農業総合試験場 企画普及部・企画調整室 TEL: 0561-62-0085(内線321) FAX: 0561-63-0815 nososi@pref.aichi.lg.jp 〒480-1193 長久手市岩作三ヶ峯1-1
農林水産	7-30	食生活を支える農業技術:体験授業 ～農作物を育む土の役割～	《体験あり》 【対象】小学3年生から6年生まで 【時期】6月から10月 土は、農業や林業の基盤であり、豊かな自然環境を育み、気候変動を和らげる大切な存在です。農業総合試験場では、愛知県内各地の農地土壌の状況を調べ、土の中で起きる様々な現象と農作物の関わりについて研究しています。農業総合試験場の研究員が、簡単な実験を通して、土の役割や不思議さをお伝えします。	農業総合試験場 企画普及部・企画調整室 TEL: 0561-62-0085(内線321) FAX: 0561-63-0815 nososi@pref.aichi.lg.jp 〒480-1193 長久手市岩作三ヶ峯1-1
環境	8-2	愛知県環境白書について ～愛知県の環境の状況～	愛知県の環境の状況及び環境保全の施策に関する年次報告として、毎年、12月に環境白書を発行しています。環境白書には、身近な生活環境に関することから地球環境に関することまで幅広い分野を取り上げていますが、この講座では、その概要について御説明します。	環境政策課 企画・広報グループ TEL: 052-954-6210 FAX: 052-954-6914 kankyo@pref.aichi.lg.jp
環境	8-3	愛知県環境基本計画について	愛知県では、環境の保全に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図ることを目的として「愛知県環境基本計画」を策定しています。この講座では、この計画の概要について御説明します。	環境政策課 企画・広報グループ TEL: 052-954-6210 FAX: 052-954-6914 kankyo@pref.aichi.lg.jp

平成30年度「県政お届け講座」テーマ一覧

※ テーマ名のリンクをクリックすると申込のための電子申請システム画面に移行します。

分類	テーマ番号	テーマ名	内容	連絡先
環境	8-4	グリーン購入について ～地球にやさしいお買物、グリーン購入 を始めてみませんか？～	愛知県では、環境にやさしい商品を優先的に購入する、グリーン購入の取組を推進しています。この講座では、グリーン購入とは何か、どんな商品が地球に優しいのかを御説明します。	環境活動推進課 調整・環境配慮行動グループ TEL: 052-954-6241 FAX: 052-954-6914 kankyokatsudo@pref.aichi.lg.jp
環境	8-10	愛知の水環境を支える浄化槽	《体験あり》 愛知県の海に流れ込む汚れのうち約半分は家庭からの生活排水によるものです。愛知県は全国有数の浄化槽設置県です。浄化槽は汚水の浄化に大きな役割を果たしています。 この講座では、浄化槽を上手に働かせるためのお話をいたします。	水大気環境課 生活環境地盤対策室 生活環境グループ TEL: 052-954-6219 FAX: 052-953-5716 seikatsujiban@pref.aichi.lg.jp
環境	8-11	生活排水について考えよう！	《体験あり》 愛知県の海に流れ込む汚れのうち約半分は家庭からの生活排水によるものであり、川や海の汚れと私たちの生活とは密接な関係があります。 この講座では、生活排水の汚れ具合を実験などで確認し、川や海を汚さないために私たちができることを一緒に考えましょう。	水大気環境課 生活環境地盤対策室 三河湾環境再生グループ TEL: 052-954-6220 FAX: 052-953-5716 seikatsujiban@pref.aichi.lg.jp
環境	8-12	油ヶ淵の水質浄化の取組	《体験あり》 愛知県唯一の天然湖沼「油ヶ淵」は、周辺の都市化の進展や閉鎖性水域であることなどから、全国的に見ても水質の良くない湖沼の一つです。現在、行政や市民の皆様が油ヶ淵の水質浄化に向けて様々な取組を行っています。 この講座では、油ヶ淵の現状や、油ヶ淵で行われている水質浄化対策、取組などについてお話しします。	水大気環境課 生活環境地盤対策室 三河湾環境再生グループ TEL: 052-954-6220 FAX: 052-953-5716 seikatsujiban@pref.aichi.lg.jp ※建設部河川課と連携して講座を行います。
環境	8-13	三河湾の現状と環境再生に向けた取組 について	三河湾は、知多半島と渥美半島に囲まれた海で、古くから豊かな海の恵みをもたらしてくれる「里海」です。しかし、戦後の経済発展に伴って水質汚濁や赤潮、苦潮の発生など環境の悪化が生じています。 この講座では、三河湾の現状や課題、三河湾環境再生プロジェクトなどの環境再生に向けた様々な取組について御説明します。	水大気環境課 生活環境地盤対策室 三河湾環境再生グループ TEL: 052-954-6220 FAX: 052-953-5716 seikatsujiban@pref.aichi.lg.jp
環境	8-14	愛知県における外来種(移入種)問題に ついて	県内には、山、川、平野、海と豊かな自然があり、地域にあった様々な生きものが暮らしています。しかし、人の手によって持ち込まれる外来種(移入種)によって、地域の生態系がおびやかされています。 この講座では、こういった外来種による問題について、現在県内で問題となっている事例や、国や県による対策について紹介するとともに、コイやホタルをむやみに放流することにより地域の生態系にどのような問題があるのかなどについて、皆さんと一緒に考えたいと思います。	自然環境課 野生生物・鳥獣グループ TEL: 052-954-6230 FAX: 052-963-3526 shizen@pref.aichi.lg.jp
環境	8-15	絶滅のおそれのある愛知県の野生 生物について ～「レッドリストあいち2015」～	県内では、約16,000種の動植物種が確認されていますが、そのうち約850種は絶滅のおそれがある種(絶滅危惧種)とされています。 この講座では、これらの種をとりまとめ、ランク付けした「レッドリストあいち2015」の概要や、保護の取組について紹介し、身近な野生生物に興味を持っていただく機会にしたいと思います。	自然環境課 野生生物・鳥獣グループ TEL: 052-954-6230 FAX: 052-963-3526 shizen@pref.aichi.lg.jp
環境	8-16	野生鳥獣の保護と管理について ～愛知県内の状況等～	近年、生物多様性の保全等の環境問題への意識の高まりにともない、野生鳥獣に関心を持つ人が増えています。 この講座では、農作物等に被害を与えている鳥獣の保護管理等、本県が取り組んでいる鳥獣保護管理事業について御紹介します。	自然環境課 野生生物・鳥獣グループ TEL: 052-954-6230 FAX: 052-963-3526 shizen@pref.aichi.lg.jp
環境	8-19	循環型社会の形成推進について ～3Rのすすめ～	良好な環境を維持し持続可能な社会を実現していくためには、廃棄物の排出抑制と適正な資源循環を促すことにより、環境への負荷ができるだけ低減された資源循環型社会を構築することが不可欠です。 この講座では、家庭ごみなどの一般廃棄物について、3Rの理念に基づき、発生抑制を第一に、その次に再使用、再生利用を推進し、循環型社会の形成推進を図るための施策を、御説明します。	資源循環推進課 一般廃棄物グループ TEL: 052-954-6234 FAX: 052-953-7776 junkan@pref.aichi.lg.jp
環境	8-20	海岸漂着物等(海ごみ)対策について ～川も海も、ごみ箱じゃない～	県内の26河川を調査した結果、河川ごみの7割以上が生活系のごみであり、その内、多くはペットボトル、食品容器・包装類、ごみ袋などのプラスチック類がポイ捨てされたことによって生じたものであることがわかりました。これらポイ捨てごみは河川を通じ、海へと流出することによって、回収処理が困難となります。海を漂うごみ、特に、プラスチックごみが分解されることによって、細かいかけら(マイクロプラスチック)等になり、生態系へ悪影響を与えることも懸念されています。 そこで、海ごみの問題について理解を深めていただき、その対策や生活の中で気を付けていただきたいこと等をお話しします。	資源循環推進課 一般廃棄物グループ TEL: 052-954-6234 FAX: 052-953-7776 junkan@pref.aichi.lg.jp
環境	8-21	あいち森と緑づくり税を活用した取組 ～山から街まで緑豊かな愛知をめざし て～	様々な働きで私たちの快適な暮らしを支えてくれている森や緑を健全な状態で将来に引き継いでいくために「あいち森と緑づくり税」を活用し、人工林、里山林、都市の緑を整備、保全するための取組を進めています。この取組内容について、御紹介します。	森林保全課 森と緑づくり推進室 森林里山再生グループ TEL: 052-954-6455 FAX: 052-954-6937 mori-midori@pref.aichi.lg.jp

平成30年度「県政お届け講座」テーマ一覧

※ テーマ名のリンクをクリックすると申込のための電子申請システム画面に移行します。

分類	テーマ番号	テーマ名	内容	連絡先
産業・雇用	9-4	伝統的工芸品産業の現状と振興について ～知っていますか？あいちの伝統的工芸品～	愛知県には有松・鳴海絞を始め、国の指定を受けた伝統的工芸品が14品目あり、国や県などが連携してその振興を支援しています。手作りによる温もりや、生活に潤いを与える個性的な生活用品である伝統的工芸品の良さと、各産地の取組を御紹介します。	産業振興課 繊維・窯業・生活産業グループ TEL: 052-954-6341 FAX: 052-954-6976 sangyoshinko@pref.aichi.lg.jp
産業・雇用	9-6	ロボット産業の振興	★新規★ 愛知県では、ロボット産業を自動車、航空宇宙に次ぐ、第3の柱として大きく育てていくことを目指し、平成26年11月に「あいちロボット産業クラスター推進協議会」を立ち上げました。当講座では、協議会の取組や、2020年に本県で開催される「ワールドロボットサミット」について御紹介します。	産業振興課 次世代産業室 次世代産業第二グループ TEL: 052-954-6352 FAX: 052-954-6943 jisedai@pref.aichi.lg.jp
産業・雇用	9-8	新エネルギー、水素社会について	愛知県では、新エネルギー関連産業の振興を図るため、「新エネルギー実証研究エリア」において、新エネルギー関連技術の実用化に向けた企業の取組を支援しています。また、「愛知県庁水素社会普及啓発ゾーン」や「水素エネルギー社会形成研究会」を通じて燃料電池自動車(FCV)や水素ステーション、水素社会に関する普及啓発を実施しています。当講座では、県の新エネルギー関連産業の振興や、水素社会の実現に向けた取組について分かりやすく御紹介します。	産業科学技術課 新エネルギー産業グループ TEL: 052-954-6350 FAX: 052-954-6977 san-kagi@pref.aichi.lg.jp
産業・雇用	9-12	シンクロtron光が可能にする最先端の科学技術 ～あいちシンクロtron光センターの活用について～	最先端の科学研究や先端技術に用いることができ、「夢の光」と呼ばれるシンクロtron光は、ほぼ光速で直進する電子が電磁石によって進行方向を変えられた際に発生する光(電磁波)のことです。あいち産業科学技術総合センターでは、企業の方々が、新技術・新製品の開発において、この最先端技術を有効に活用する取組を支援しています。当講座では、シンクロtron光を活用した計測分析のしくみをはじめ、「知の拠点あいち」に立地する「あいちシンクロtron光センター」の活用方法や事例について御紹介します。	あいち産業科学技術総合センター 共同研究支援部 TEL: 0561-76-8315 FAX: 0561-76-8317 acist@pref.aichi.lg.jp 〒470-0356 豊田市八草町秋合1267番1
産業・雇用	9-14	環境に優しい燃料電池のお話	エネルギーの大量消費による化石燃料の枯渇と温室効果ガスによる地球の温暖化が心配されています。これらの課題解決に期待されているのが燃料電池や太陽電池です。あいち産業科学技術総合センターでは、電池材料の開発に取り組む中小企業の支援するため、「燃料電池トライアルコア」を設置しています。その活動や電池のしくみ等を御紹介します。	あいち産業科学技術総合センター 産業技術センター 化学材料室 TEL: 0566-24-1841(内240) FAX: 0566-22-8033 acist-sangyou@pref.aichi.lg.jp 〒448-0013 刈谷市恩田町一丁目157番地1
産業・雇用	9-16	技能五輪・アビリンピックについて	2019年度及び2020年度技能五輪全国大会・全国アビリンピックの本県開催が内定しており、さらに2023年の技能五輪国際大会の本県招致も目指しております。そこで、技能五輪やアビリンピックとは、いったいどのようなものであるのか、どのような効果が期待できるか、技能はモノづくりにいかに必要か等についてお話しします。	産業人材育成課 技能五輪・アビリンピック推進室 国際大会・調整グループ TEL: 052-954-6875 全国大会第一グループ TEL: 052-954-6884 全国大会第二グループ TEL: 052-954-6469 FAX: 052-954-6978 gorin@pref.aichi.lg.jp